

# 田上町 議会だより

第91号

■平成23年10月28日 発行



▲蕎麦花ざかり(羽生田地区内)

---

9月定例会・決算額の動向 .....	P2~3
決算審査特別委員会 .....	P4~5
付託案件審査報告 .....	P6
請願・陳情・議会からのお知らせ .....	P7
一般質問 .....	P8~17
所管事務調査報告 .....	P18
一部事務組合等の報告 .....	P19
7.29水害調査特別委員会/編集後記 .....	P20

---



9月定例会



▲人事案件の起立採決

## 武道場建設経費などの 平成22年度各会計決算認定 平成23年度一般会計・特別会計補正予算可決

決算議会とも言われる9月定例議会は、9月12日～26日の15日間にわたり開催されました。

初日の12日は、委員会、各一部事務組合議会の報告の後、人事案件では、教育委員に大矢宏氏の再任及び固定資産評価審査委員会委員には早津紳也氏の再任がそれぞれ同意されました。

人事案件を除く17議案は町長の提案説明の後、市町村総合事務組合規約の変更についての議案が即決で可決され、残る16議案は各常任委員会及び、今定例会で新たに設置された決算審査特別委員会に審査が付託されました。

12・13日には、一般質問が行われ10議員が様々な角度から、町政に対する真摯な質疑が展開されました。

15日には、総務産経常任委員会、16日は社会文教常任委員会で、それぞれ付託議案と請願審査が行われました。

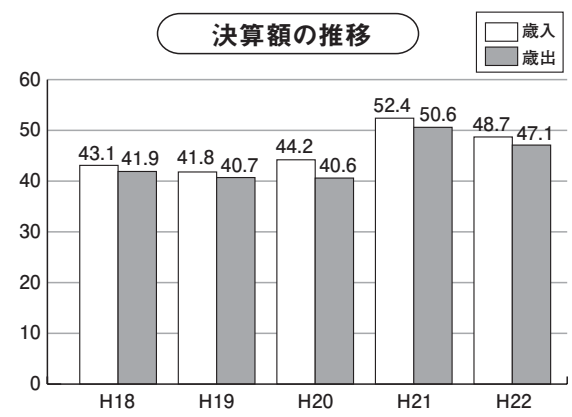
20～22日の三日間は、決算審査特別委員会で、一般会計及び各特別会計の決算審査が精力的に行われ、町長に対する最終的な総括質疑では、真剣な議論が交わされました。

最終日の本会議においては、各常任委員会及び決算審査特別委員会に付託された議案の委員長報告が行われ、討論採決の結果、全て可決、承認、認定されました。



▲決算委員長長の報告

## 過去5年間の決算状況

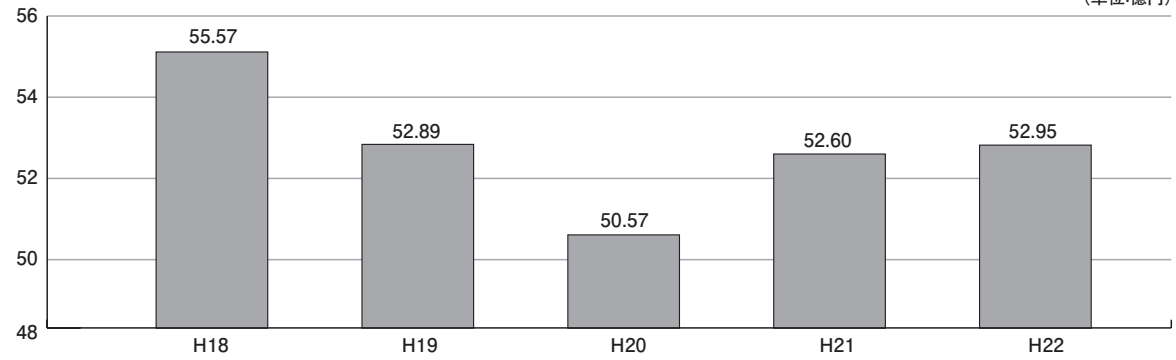


**22年度1億48百万円の黒字**

・財政調整基金(町の貯金)が22百万円増加し、財政基盤が若干堅固になりました。しかし、経常収支比率は82%であり、昨年よりアップしたとはいえ、まだまだ改善しなければならぬ水準です。

・特に懸念されるのが町税が減り続けている事です。景気等の影響もありますが、自主財源の最たるものであり、注視していく必要があります。

### 町債現在高の推移



**22年度町債償還額 4億円!**  
(町の借金返済額)

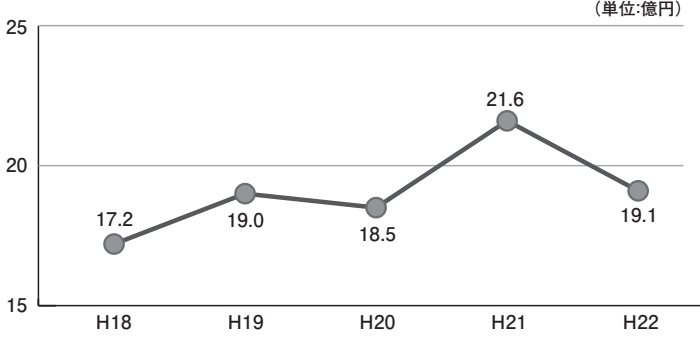
・22年度の償還額は4億676万円でした。しかしながら、町債の現在高は52億9千5百万円という多額な町債を抱えているのが現状です。

・町民の皆様のご理解のもと、財政健全化に注力した行政運営により、5年間で現在高は2億6千万円減少しております。

・昨年対比で3千万円ほど増えておりますが、これは、武道場、幼稚園建設によるものです。

・今後とも、減債基金(借金返済の為の貯金)も活用し、繰上償還(繰上返済)も含め、計画的に償還していくことが重要です。

### 自主財源額の推移



**自主財源の確保が課題**

平成22年度では歳入のうち、町税が23.8%に対し、地方交付税が33.5%と地方交付税の依存度が高いことがわかります。

自主財源を生む財政基盤を作ることに、歳入の増加を図らなければなりません。

行政と議会、町民の皆様が一体となり、今後とも財政の健全化に向けて一層の努力が必要です。

# 決算審査特別委員会



渡邊委員長

松原副委員長

**問** 地方バス路線の補助金が580万円に膨れ上がって来ている。公共交通のあり方を検討、見直す時期ではないでしょうか。

**答** 町としては、簡単に発行はしません。あらゆる手を尽くしており、納税の公平性からの事とご理解下さい。

**問** 緊急雇用創出事業臨時基金は23年度で終わる事業ですが、委託先に継続雇用の働きかけをして頂けませんか。

**答** この事業基金は、3年間の

**問** 宅地開発低迷の原因の一つとして、第1種低層住専指定地域に大きな問題があります。町の都市計画審議会を早急に開く必要があると思いますが如何ですか。



▲椿寿荘

**問** 滞納者への資格証(国民健康保険証休止)は、厳しい事であり社会保障、福祉の観点からも熟慮していただけないでしょうか。

**答** 緊急搬送は基本的に、2次医療施設(加茂病院)等に送る事に成っており、応急診療所は1次医療施設であるため法に違反することです。

**問** 湯つ多里館の入館者が減ってきています。いちばん少ない夕方4時〜5時頃に福祉タイムなどを設け町民福祉を目的とした集客などを考えられないでしょうか。

**答** リピーターを確保する事が大切な事でもあり、サービス券を発行するなどいろいろな試みをしました。今後は夕方5時からの割引なども検討したいと思っています。

**問** 町の観光スポットは幾つかありますが、点在したままでつながりがなく、又商工費予算を見ると7%代で推移しています。もっと力を入れてほしいと思います。

**答** 町は、交流人口を増やそうと、各種イベントに協力しています。又観光協会ともタイアップをして観光に力を入れていきます。今後予算の配分については検討します。

**問** 町の自治会の組織数は大小併せて43区あり、区長のなりてがないと言う話も聞いています。町はどのように考えているのかお聞きします。

**答** 戸数の少ない地域の再編のお話ですが、地元に行つて聞いてみますと、難しい問題が沢山あります。再編という話は現在検討しておりません。

**問** 応急診療所だけが快諾したが救急車は搬送できないから個人で連れて行つてくれとの事例があります。

**答** 高齢者の買い物・通院など、自宅の近くまで「車」がとまるように変わってきています。デマンドバスなど、考えられる良いお話があつたら教えて下さい。

**問** 臨時雇用を拡大する為のものです、町の地図作りや「かぐやの里」などで「けあーず」に2名お願ひしています。

**問** 町の観光スポットは幾つかありますが、点在したままでつながりがなく、又商工費予算を見ると7%代で推移しています。もっと力を入れてほしいと思います。

**答** 平成12年に都市計画審議会を開催したのですが、町民から要望が出て、必要あると認識すれば、調査を行い審議会を開催致します。

本委員会は、各自が事前に「決算の意義と考え方」などを再認識する事の確認と各委員の専門分野を生かし、行政効果や経済効果を考えながら、町民に代わつて効果を評価して認定すると共に、後年度の予算編成や行政執行に活かせる様な審議を申し合わせ、決算審査に臨みました。

本委員会は平成23年9月12日付けに付託された、平成22年度一般会計と7特別会計及び水道事業会計の9議案を審査し、討論及び採決の結果、すべて原案通り認定されました。

決算審査は9月20日から22日までの3日間にわたり実施し、総質疑件数も150件に近い闊達な質疑がかわされ、執行側の答弁も丁寧な回答で、中には実際に現場でのやり取り苦労した事例など執行の様子



委員長 渡邊正策

が答弁に見えた点は、以前にはなく、執行状況の苦労が感じられました。

町長への総括質疑も10件と例年になく多くの質疑を頂き内容も後年度に結びつく改善や新しい執行提案などが主で有つたと思います。

いつになく熱気をおびた場面もありましたが、懇切丁寧な答弁で有つたと総括させて頂きます。

## 町長への総括質疑 質疑件数 10件

**問** 減債基金へ、他の基金を取り崩し、3億3千900万円を積立てた目的と、運用についてお聞かせください。

**答** 償還金の財源に充てる事が目的であり、これから幼児園、温泉施設等に多額の償還が見込まれます。又平時の返済にも使うことができます。

**問** 自主財源の適正比率はどの位が望ましいと考えていますか。

**答** 自主財源が高ければ、交付税が比例して、減額に繋がります。少しでも高い方が良いので企業誘致をするなど生産人口を増やすよう努めます。

**問** 先般、交通事故が発生し医療機関の受け入れ先として



# 常任委員会付託案件審査

## 総務産経常任委員会

### 常任委員会付託案件審査

請願番号	件名	請願者の住所・氏名	審査結果	意見書提出先
請願第3号	羽生田大道郷地内の町道認定についての請願	田上町大字羽生田乙509番地 羽生田総区長 坪谷 文四	趣探 旨択	
請願第4号	羽生田字村浦地内の町道認定についての請願	田上町大字羽生田乙617番地 羽生田1区 区長 吉沢 雅俊	継審 続査	
請願第5号	「私立高校生が学費を心配せず学べるように、学費軽減助成と経常費助成の増額・拡充を求める意見書」の採択に関する請願	新潟市中央区弁天橋通1丁目13番13号 私学会館内 新潟県私学の公費助成をすすめる会 会長 中村直美	採 択	内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 文部科学大臣 衆議院議長 参議院議長 新潟県知事
請願第6号	自然エネルギーの開発と普及、プログラムを決めた原発からの撤退を求める意見書提出に関する請願	新潟市中央区西堀通3-799 原発問題住民運動 新潟県連絡センター 代表 関根征士	趣探 旨択	
請願第7号	「社会保障と税の一体改革」による消費税の増税は行わないことをもとめる請願	新潟市東区大形本町3-4-12 消費税廃止新潟県各界連絡会 代表 能登 惣五郎	不採 択	

一般会計補正予算(第3号)は、7月29日付で専決処分されたもので、7・29水害における避難所設置に関する経費、水害復旧事業で緊急に必要な経費、水害復旧費などを補正したものです。

質疑では、災害の国県補助対象になるものがあるのかとの質問に対し、8件の補助対象があるので、今後申請していくとの答弁がありました。

水道事業会計補正予算(第2号)についても、水害時の断水対応経費に緊急に必要な経費を補正したものです。

田上町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正は、条例中の文言の改正を行うものです。

一般会計補正予算(第4号)は、歳入では水害に関連した補

助金、負担金の受け入れと歳出では、民生費で被災者生活再建支援補助金、農林水産業費では農林水産業振興資金利子補給消防費では放射能測定器購入経費、災害復旧費では、水害での職員の時間外手当などを補正するものです。

質疑では、五明寺トンネルの修繕概略設計業務が計上されているが、どのような業務かとの質問に対し、補修工法の検討を行うことが主な業務であるとの答弁がありました。放射能測定器のメーカーと性能はどの程度なのか、との質問では、県の地域振興局から借用していたものと同様の性能で、国産品を予定しているとの答弁がありました。

下水道事業特別会計補正予算(第1号)は、修繕料に不足が見込まれるため補正するものです。

いずれも原案は承認、可決されました。

委員長 池井 豊

番号	件名	陳情者
陳情第3号	拡大生産者責任(EPR)及びデポジット制度法制化を求める意見書の採択について	陳情代表者 福岡県三潴郡大木町大字横溝2734-1 環境自治体を目指すちっご委員会 委員長 荒木フサエ 以下3名

## 社会文教常任委員会

一般会計補正予算(第3号)は、7月29日付で専決処分されたもので、教育費では中学校でのガス管補修経費、及び災害復旧費で中学校体育館脇駐車場修理経費を補正したものです。

町税条例の一部改正では、法律の改正に伴い町税条例も改正されるもので、不申告に係る過料の改正、寄付金税額控除の改正等を行うものです。

一般会計補正予算(第4号)は、民生費では県補助による「地域支え合い体制づくり事業」で、要援護者調査や小型除雪機二台の整備経費の補正等が主なものです。衛生費では妊婦健診、インフルエンザワクチン接種等、事業費の確定による補助金の返還金の補正が主なものです。教育費では新たに立ち上げる「キャリア教育推進協議会」の経費、各小中学校での総合学習支援事業の経費、上野コミュニティセンターの補修経費等



▲総務産経常任委員会の様子

が主な補正です。

介護保険特別会計補正予算(第1号)は、やすらぎの家、くつろぎの家の運営経費が確定したことに伴う返還金の補正等が主なものです。

いずれも原案は承認、可決されました。

委員長 熊倉 正治

## 請 願

## 陳 情

### 議会からのお知らせ

町政に対する要望等は請願書・陳情書として議会に提出することが出来ます。

#### ○請願書

請願書を提出する際には、1名以上の議員の紹介が必要です。

請願書は、左の書式例を参考に、表題を付け、内容がよくわかるように記入してください。

また、請願者の住所・氏名を記入し押印をしてください。法人による請願は、名称と代表者の氏名を記入し、代表者印を押印してください。

請願書は、議会に提出され、審議されます。

#### ○陳情書

陳情書を提出する際は、議員の紹介は必要ありません。

請願書と同様に住所・氏名を記入し、押印をお願いします。

陳情書は、その写しを議員に配付するのみとなります。

### 請願書・陳情書の提出について

請願書・陳情書・意見書を提出される場合は、定例会初日の1週間前までに議会事務局に提出してください。

次の定例会は12月です。12月定例会初日は、12月の予定ですので、12月5日までに提出をお願いいたします。

#### ◆請願書の書式例◆

年 月 日

〇〇〇〇に関する請願書

田上町議会議長 様

紹介議員〇〇〇〇  
請願代表者  
住所  
氏名・押印

〔請願趣旨〕  
\_\_\_\_\_

〔請願事項〕  
\_\_\_\_\_



お願いいたします





松原良彦 議員

**町長** この水害を教訓といたしまして、避難等の情報を町民の皆さんにご理解いただくため、区長会あるいは自主防災組織、「ぎずな」等で周知していきたいと考えております。



川崎昭夫 議員

### 椿寿荘の維持管理は

**問** 今年、建設から93年目を迎えた田上町の指定文化財の一つ、豪農の館「椿寿荘」は、あと七年で百年を迎えようとしています。豪農の館「椿寿荘」は、あと七年で百年を迎えようとしていますが、雨漏りなど老朽化による影響がみられます。このような木造建築物は、百年で小規模修繕、二百年に中規模修繕、三百年に大規模修繕が必要と言われています。調査の結果、椿寿荘の抜本的な改修には数千万円が必要とされています。椿寿荘は田上町の大事な文化財、町の活性化のためにも重要な施設です。今後どのような維持管理を考えておりますか、お伺い致します。

# 一般質問

### 避難勧告、避難指示は行き届いたか

**問** 今回の「7・29豪雨災害」の実態から、避難準備情報、避難勧告、避難指示の意味を今一度区長会、自主防災組織等に再周知を図って頂きたいが如何か。田上町水防本部から出された指示が区長↓班長↓各家庭へと連絡指示がだんだん甘くなつて特に、「避難指示」の言葉が理解されなかったと思う。大切な事だと考えるが、再度お聞きかせ下さい。



▲避難所のようす

### 避難所開設基準・体制について

**問** 地域防災計画では、避難施設として、「指定避難所」「福祉避難所」と2種類あるが今回は町民体育館1ヶ所だった。特に、福祉避難所を開設しなかつた理由を伺いたい。



▲豪農の館 椿寿荘

**町長** これまでの椿寿荘の維持管理については、毎年最小限度の対応を行ってまいりましたが、調査の結果はいますぐに改修しなければならぬというものはなくその後改修に向けて検討してほしいという内容でありましたので、その機会をとらえ改修計画を策定する予定でございましたが、現在に至っておりません。ちなみに改修費の概算見積額540万円ほどですが、全部単年度では出来ませんので今後町づくりの財政計画に盛り込んで、改修時期の検討をしてまいります。

### 指定管理者制度への支援は

**問** 平成21年4月1日から向こう5年間田上町の総合公園YOU・遊ランドと豪農の館「椿寿荘」が指定管理者制度に移行されました。3年目を迎えております。町サイドと管理運営サイドとの打ち合わせ等行われていないように感じられます。いろんな問題があると聞いております。これらの問題を解決するべく、これからも指定管理者制度へ移行される施設もでてくると思います。お客様へのサービス向上と経費節減を図るために、年1回ないし2回の会議を持たれることを提案いたします。



▲椿寿荘(大名玄関)

**町長** 運営面において会議を開催してほしいとの要望でありますが、これまでに予算策定時とか備品等の関係についてはその都度打ち合わせを行ってまいりましたが、定期的な会議が必要であれば、会議を実施するようにしたいと思います。

### 県央救命救急センター開設について

**町長** 今回の水害における避難所は、危険な場所から安全な場所への1次避難所として町民体育館を開設しました。高齢者、あるいは障害者、乳児など、いわゆる要援護者の方については、隣接する武道場を福祉避難所と致しました。

**問** 先の、議員全員協議会で町長より県央地域における救命救急センター、及び併設病員のあり方に関する、共通認識等の説明がありました。一番知りたい、いつ、どこに出来るのか、説明が無かった。県央地域の皆さんが待ち望んでいる事でもあり、今現在の状況をお聞きさせ下さい。



▲町を守った横場排水機

**町長** これまでに9回の合同会議のまとめを県に提出いたしました。県としては来年の3月頃までに一定の方向を出したいとの事です。建設場所は何処にするのかと県に質問したら、それはその後だとの回答でした。今後一刻も早く救命救急センターの設置を要望して参ります。





川口 與志郎 議員

# 一般質問



有川 りえ子 議員

## 水害対策について

**問** 田上町にある川の逆流を防止するための水門はいくつありますか。また、大小様々な水門を管理する人々が水門を閉めるタイミングのガイドラインはありますか。また、定期点検はきちんと行われていますか。

**町長** 大正川排水機場については、3人の地元管理人に操作を委託し、また、轟排水樋門については加茂市の管理だが、操作については田上地内に被害を及ぼす影響が大きいため、加茂市と連携をとりながら対応したい。町内における水門、樋門については町が把握している設置者及び管理者がメンテナンス

スも行います。農業用水等の水門、ゲートは個々に操作や管理が行われています。

**問** 災害時の復旧工事を行う際は、原状回復だけではなく構造改革に取り組みませんか。

**町長** 災害復旧工事については現状復旧が原則ではありませんが、最重要点については河川の維持管理はもちろんのこと構造上問題のある箇所については調査の上、今後改良工事において対処したいと考えております。



▲轟樋門

**問** 今後の防災訓練の計画をお示しください。

**町長** 今のところ町全体での防災訓練は考えておりません。今後は町内全域にわたって自主防災組織が結成され、防災訓練を実施していくことにより防災意識の向上につなげていただきたいと期待しています。



▲新大正川排水機場

**問** 町民アンケートによる町民の皆様と町当局の皆様の間、認識の違いについて、今後どのようにその距離感を近づけながら第5次総合計画の策定に盛り込まれるのかを伺います。

**町長** 50施策すべてに対して行政評価と住民評価の相違について検証し、第5次総合計画において町民の皆さんの満足度が少しでも向上するようにそれぞれの施策を反映し、重点的に改善策したいと思います。

## 早急に特別養護老人ホームの増設に着手を

**問** 中、長期的に特養への入所希望者が増えていくことは明らかですが、どのような分析しておられるか伺います。

全国的には、過去10年間、特養へ待機者が11万人から42万人に4倍に膨れ上がりました。その間、高齢者をめぐる悲惨な出来事が多発するようになってきました。

今、田上には特養への待機者が148人おりますので、過去の全国的な数から類推しても11年後には、600人以上の特養への入所希望者が存在するという事になります。高齢化社会が進行していますので、もっと深刻な事態も考えられます。ところで田上の特養のベ

数は35床しかありません。

特養の入所希望の人で、何とかお金の工面ができた人は民間の施設に入所した人もいと聞いています。しかし、それもできずに在宅している人は本人も家族も大変な状況におかれていることを想像することは難しいことではありません。

認知症の人がヘルパーを頼りに一人暮らしをしているとか在宅で老老介護をしているとか、独身の子どもが、認知症の親の面倒を見ているとか、など、今現在でも悲惨な状況が起っています。

この現状と将来のことを考えて、早急な対策が必要と思えますがいかがですか。

**町長** 介護保険制度がある程度定着してきた平成14年8月末当時の特養の待機者65名、その内在宅の待機者は35名でした。当時に比べますと田上町では今2倍以上に膨れあがってきたわけでありまして。さらに数年

のうちに団塊の世代も高齢期を迎えまして超高齢化社会にいいよ入ることになっております。

このような状況の中で、平成24年から26年までを計画期間とする第5次介護保険事業計画の策定作業に今取り組んでおります。

計画には、将来の要介護者認定数、各種サービスの利用者なども見込むことで保険料を算定することになりますのでその内容については今しばらく来年の3月までお待ちいただきたいと思っております。

## 国保料の引き下げを求めることについて

**問** 国民健康保険法第1条に「この法律は、いわゆる国民健康

保険事業の健全な運営を確保し、もって社会保障及び国民保健の向上に寄与することを目的とする。」と書いてあります。国民健康保険法には社会保障・福祉として位置づけられています。また憲法25条には「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」とあり、生存権が定められています。この主旨による田上町の高い国保料を引き下げてくださいないでしょうか。

**町長** 国では今社会保障と税の一体改革に取り組んでいる最中でありまして、改革の進展を注視してまいりたいと考えております。

## 第5次総合計画について





今井幸代 議員

**問** 幼稚園、中学校につながる町道幼稚園線は、車の往来も自転車も歩行者の往来も非常に多い場所です。車2車線で通行していると歩行者の通行スペースはほとんどありません。歩行者は日々身の危険を感じながら通行しております。先日実施された町民アンケートでも、歩行者や自転車安全に通れる道路整備は、重要課題だと認識されております。交通弱者の安全確保の為に歩道の整備を必要と考えますがいかがでしょうか。

### 町道幼稚園線の歩道整備が必要

**町長** 行政相談員からも設置要望もあり、その必要性は十分認識しておりますので、来年度予算策定期間までに町全体の道路予算を考慮したうえで検討してまいります。



▲中学校、幼稚園に続く町道幼稚園線

### 保護者の声に耳を傾ける体制を

**問** 竹の友幼稚園が開園され

**町長** 県内における保育施設でこのような満足度調査をしたという事は聞いておりませんが、子どもたちにとって素晴らしい場所となるよう、保育士の研修や資質向上は急務であると考えております。また意見箱を設置する事は可能か

### その他3点について質問

- 買物弱者や移動弱者支援について
- 少子化対策委員会について
- ファミリーサポートセンターについて



椿一春 議員

### グループホームが いよいよ、田上町に 出来るか

**問** グループホーム、特別養護老人ホーム施設等の介護保険事業第5次計画の方針について伺います。

特別養護老人ホームなのですが、一般的には公的ホームと俗称されています。その特養の概算費用は大体8万円から13万円また、低所得者には居住費、食費の負担限度軽減申請を行うことができます。入居の順番待ちも多くいますので早急な対策が必要です。また、入居者が増えたからといって田上町の介護保険の負担

が増えるものではないのです。29人以上の施設ですと住所特例がついて転出前の市町村が本人の介護保険を負担するので、田上町の負担となりません。また、1つの事業者が生まれ、そこに田上町で雇用が生まれます。田上町に資金がなければ、民間の資金などを大いに活用し、公募をもっといろんな市町村に田上町ではこれだけの施設を今作りたいたいということを宣伝すべきと思います。

**町長** 特に民間の資金の活用がこれからも介護施設あるいはグループホームには必要と思っております。

この平成24年度から26年度までの第5期介護保険事業推進計画の策定に今取り組んでいる最中ですので、いわゆる保険料の設定とともに、各種のサービス量がどのぐらいなのかという、見込み等についてお示しをできると思っております。

### やすらぎの家の 今後を具体的に 協議中

**問** やすらぎの家の運営は、県の助成金が今年度で打ち切られる。社会福祉協議会と協議

認知症のグループホームができれば、特養が空くというような今お話でございましたが、これも6月議会にお話いたしましたように、旧保育所の跡地に現在では18床のグループホームを建設したいという企業の申し出が1件ありますし、その他1件、保育所跡にデイサービスの施設を建設したいという申し込みを最近いただいたいております。

**町長** 障害者ふれあいセンターのやすらぎの家などの利用施設、田上よつばの会という通所作業所になっています。今ほどご指摘ありましたように、国の補助金が切れるということもございます。田上町の社会福祉協議会にその運営がお願いできないかということで、町と社会福祉協議会、そしてよつばの会の3団体で実際協議を行っている最中でありまして、内容については、関係機関それぞれの調整が整った時点でお知らせできると思っております。

2年が経過いたしました。新しい園舎に保育時間の拡大、幼児教育の充実など保育サービスは向上しました。しかし、小規模保育所から、大規模に変わり、保護者の方は先生との関わり方、子どもと先生との関わり方など、保育所時代とのギャップを感じている方も少なくありません。日々の保育に関して保護者の方たちがどのように感じているのか、また今後、園がより良い幼稚園になる為に取り組みを行った際にも竹の友幼稚園に対する満足度調査が必要と考えます。いかがでしょうか。

と思います。保護者の代表と園側で協議する場を設けるなど一つの方法ではないかと考えています。なるべく色々な要望を汲み取りながら、できることから改善を図っていきたいと考えています。





関根一義 議員

**町長** 上流域に貯水機能を有する遊水池を設けることは有効な手立てであることは事実であります。平成12年の災害調査が未整備になっており機能を果しておりません。再度調査の必要があります。

**町長** 指摘のとおり、再検証しなければならぬと考えているが、下流域も含めた協議調整が必要となります。しかしながら、少しでも災害がでないよう農地の遊水池化なども含め十分協議したうえで、対応を構じてまいりたいと思います。

**町長** 災害種別の状況により開設場所を決定するなど、福祉避難所も含め、抜本的に検討する必要があります。

**町長** 原発事故に伴う室内避難区域に指定の件については、県の防災計画の見直しに合致するように検討を進めます。そのため町の地域防災計画に原子力災害対策編を追加します。



皆川忠志 議員

### 7.29集中豪雨水害について

**問** 町の中小河川の整備計画はどのようなになっていますか。加えて、今後の水害対策には土地改良区・JR等との連携が必要であり、意見交換等の場を設置すべきではないですか。また、防災システムの一環として、音声による情報伝達方法を検討すべきではないでしょうか。少なくとも、公共施設、区長までは設置すべきと考えますが、如何ですか。

**町長** 町では河川整備計画はなく、改良工事で水害防止対策を行ってきました。また、中小河川が大正川に流れ込んでおりますが、これには土地改良区との調整・協議が必要であること

と、また抜本対策には莫大な費用を要することで二の足を踏んでいるのが、現状です。いずれにしても、土地改良区・JR等と連携をとり、水害の防止に向け努力していきます。また、公共施設のネットワークは、既に役場庁舎と町の公民館、小中学校等と構築しております。今後は光も入りますし、財政が許せば、区長まで繋げることを参考にしていきたいです。

難しいので、民間企業を活用すべきであります。また、町民の皆さんに1口株主になっていただき取り組む方法もあるのではないのでしょうか。

**町長** 「農村地域工業等導入促進法」の関係で簡単に出来るものではありませんが、必要であれば努力していきます。また、単独では無理がありますので、民間企業の活用や一口株主は効果的な方法と思っております。さらに、民間の専門家を設置など参考にしていきます。

**問** 救命救急センターは、来年3月を目途に合意形成を図ることになっています。町長の現在のスタンスはどうなっていますか。また、加茂病院は田上町にとって必要であると思いますが、どうあるべきだとお考えですか。

**町長** 今まで県央地域で最もアクセスの良い場所にすべきであること、救命救急センターを併設した500床程度の中核病院を設置することを主張してきました。考えは変わりありません。また、加茂病院についてはベッド数の規制も緩くなっており、極端に縮小することなく存続する考えに変わりはありません。



▲未来を拓く太陽光発電(新潟市東区)

### 本田上工業団地に大規模の太陽光発電を

**問** 本田上工業団地は、1区画売れたが大部分が残っています。「メガソーラー発電所」を1つのメニューとして検討しては如何ですか。町独自では

### 普通河川の上流域に遊水池の設置が有効

**問** 7・29水害は、甚大な被害を及ぼしました。新津丘陵と信濃川流域に囲まれた当町は、内水対策の再点検と検証が重要です。普通河川の急激な増水による市街地の浸水災害の軽減策として上流域に貯水機能をもつことは有効性です。専門的治水調査を実施すべきです。

### 町全域の排水能力の再検証が必要

**問** 全域から集中する排水機能の再点検・検証が必要です。

① 大道郷調整池建設計画の再検証

② R403号線及びJR横断樋管の一体的検証

③ 雨水対策と農地湛水対策を一体的にとらえた関係機関との協議

### 住民避難計画の整備・見直しが必要

**問** 公共設備を予め避難所に指定することは実態に即しません。災害種別に指定される必要があります。また要介護者などを対象とした福祉避難所の計画的整備など、「住民避難計画」の再検討が必要です。

### 原発事故を想定した要介護者対策も急務

**問** 原発事故の屋内退避区域の指定が想定されます。自力困難な要介護者の原発避難所の設置を想定しなければなりません。

### 救命救急センターの考え方と加茂病院の在り方は





池井 豊 議員

**町長** 税金につきましては、景気の動向に大きく左右されるもので、予測とか税収対策を立てることは大変難しいというものが正直なところでございます。工業団地への優秀企業の誘致もまた、それに伴う若者の雇用創出をいたしまして、元氣世代の皆さんに定住をしていただくような政策が必要であると思っております。



浅野一志 議員

### 職員のメールの利用について

**問** 町長ご自身のメールの利用について前回尋ねました。しかし、その後、どうも職員の利用も少ないように感じています。メールを設定するためにも費用がかかります。

**町長** 職員全員にメールアドレスが割振られているといいますが本当に皆さん有効に使っているのでしょうか。

**町長** 庁内でのいわゆる情報周知の手段として、メールを利用しておりますし、国、県への報告・他の市町村とのやりとりについても使っております。やはり業務においては、メールがない状況は考えられません。県とのやりとりはほとんどメールで行っておりますので、職員は十分に、メールを活用しております。

**問** インターネットが使われ始めた頃は、サーバーを庁舎に設置していましたが、その後レンタルサーバーも使われるようになっていきます。ちなみに、田上町のサーバーはどちらにおかれているのでしょうか。

**町長** 現在は庁舎内に設置してあり、耐震対策・水害対策は行っていますが、万が一この田上町の庁舎が被災した場合、ホームページが公開できなくなります。今後は民間のデータセンターなどの活用、あるいは通信回線の確保など、災害時でもサービスを停止させないための研究を今後していきたいと考えております。

### 動画の配信を提供してはどうか

**問** これまでの52局に加え、57局も、この11月より光回線の敷設が始まると聞いております。そうなれば、これまで以上に、大容量で高速なインターネットが利用できるようになります。

**町長** そこで、そのような回線を利用して、田上町のいろいろな行事を中継し、多くの町民、田上町を故郷とする出身者、県内外の人たちに対して、映像による情報発信をすることを考えてみてはいかがでしょうか。

**町長** 近年では、三条市、長岡市とか糸魚川などで動画の配信を行っているようであり、また、町村では動画の配信を行っているところはないようでもあります。町として配信を行ううとする、映像の質の問題それから閲覧の快適さが求められると思います。先進自治体の事例を参考にして研究していきたいと考えております。



▲団九郎祭りのビデオ動画(USTREAM) 田上町観光協会にリンクしている

# 一般質問

### 税制分析と財政ビジョンについて

**問** 決算後の各種税の分析により田上町の強みはどこか、減少傾向にある税の対策はどのようなにしているのか。また、税収の立場に立った財政ビジョンはどのように考えているのかを質問します。

### 田上町の水道網について

**問** 今回の水害でも断水の事態が発生し、住民生活に不便をかけた。水道網の再検討が必要と思われ。田上町の水だけで水需要をまかなうことは可能でしょうか。また、各水源を横の水道網に構築し、企業団の水がストップしたときの給水体制を築くことができるでしょうか。

### これからの財政運営について

に合わせて、少しでもバックアップ体制がとれるように検討してまいります。

**問** 東日本大震災に続き、今回の7月豪雨の対応に関連し23年度予算や財政計画に与える影響をお聞かせ下さい。

も大きな影響を及ぼすことは否定することはできません。このような状況下においては、健全財政を基本に、町民の要望にもこたえていく上で、優先順位を見きわめながら、その時点における財政状況の変化によっては、事業の予定年度の見直しとか、見送りのあり得ると考えております。

**町長** 田上町独自の水源だけでは町全体を賄うことは数字上不可能であります。田上町の既存の浄水場で管網はつながっているのに隣に送ることは可能ですが、しかし、絶対量が足りません。

**町長** 今回の豪雨関連経費につきましては、激甚災害に指定されておりますので、財政的には国の補助率もかさ上げと有利に措置されると思っておりますが、現時点では、町の財政にも大きく影響してることが想定されます。

新設の羽生田浄水場の建設

東日本大震災・各地での災害等によりまして、交付税等に



▲災害状況調査(才歩川水門)



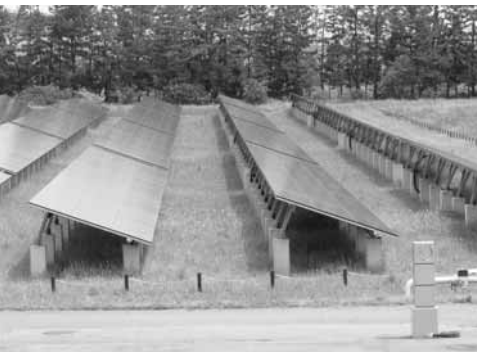
## 総務産経

◆期日 平成23年7月27日

### (1)新潟雪国型メガソーラー発電所の視察

2009年9月に日本初商用メガソーラー発電所の実現を目指す新潟県が実施した雪国型メガソーラーの共同事業者の公募に対し、昭和シェル石油が提案した内容が採択され実現したものです。メガソーラーの発電したクリーンな電力は東北電力の電線に送電され、近隣で使用される電力の一部となっています。

- ・太平洋側と比べても年間発電量は遜色がないこと。
- ・積雪時に対応したパネルが開発され、早期に落雪し機能を維持できること。



▲メガソーラー視察

・汚れに対しては基本的にメンテナンスフリーなこと。

・高効率のシステム(パネル)が開発され続けていること。

### (2)節電対策会議の状況について

- ・各課と各施設の節電対策状況の説明を受けました。
- ・財政健全化の為に既に節電していたが、なお一層の節電を行うものです。

### (3)避難所運営経費について

- ・国県に請求していくものと町負担に分けて説明を行いました。

委員長 池井豊

### 用語解説

定例会とは定期的に召集される議会のことで、付議事件の有無に関わらず、各自治体の条例で定められた時期に開かれます。(田上町は3月・6月・9月・12月)

※付議とは、事件を議会の審議に付すことです。





# 一部事務組合等の報告

加茂市・田上町消防衛生組合

## 7月臨時会

◆期日 平成23年7月28日

◆場所 加茂市役所 議場

○議長選挙

統一地方選後の初議会で

加茂市 山田議員が当選

○副議長選挙

統一地方選後の初議会で

田上町 渡邊議員が当選

○監査委員の選任

統一地方選後の初議会で

田上町 関根議員が選任

○新潟県市町村総合事務組合  
規約の変更について

小千谷市から対象職員の増加によるリスク拡大に対応するため、共同処理業務に加入したいとの申出があり、これを新たに加えるための規約の変更について承認しました。

原案可決

組合議員

関根 一義

渡邊 正策

皆川 忠志

今井 幸代

## 三条地域水道用水供給企業団

### 第2回定例会

◆期日 平成23年7月26日

◆場所 企業団事務所

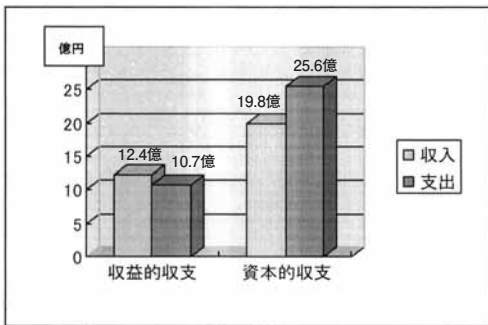
○副議長選挙

加茂市 茂岡明与司議員

○監査委員の選任

田上町 池井豊議員

○平成22年度水道用水供給  
事業決算認定



質疑の中で、放射能の水質調査が報告されました。3月11日からは毎日、4月20日以降は週1回、県の放射能管理センターで行っています。

組合議員 池井 豊

川口 與志郎

有川 りえ子

三條・燕・西蒲・南蒲広域養護老人ホーム施設組合

◆期日 平成23年7月7日

◆場所 三條市役所

議案は監査委員の任期満了により後任者の選出を行いました。

弥彦村 石川 守 議員

田上町 椿 一春 議員

の2名が選出され議会の承認を得ました。

専決処分報告では、入所者の三条市の女性に移動介助の為車椅子を広げた際にフットレストが左すねにぶつかり負傷させた事故で、12万970円の賠償金

和解が成立したこと及びこれに伴い賠償金の支払に当組合補正予算の専決処分を行ったものです。報告にたいして議会で承認されました。

組合議員 椿 一春

新潟県後期高齢者医療広域連合

◆期日 平成23年8月29日

◆場所 新潟県自治会館

## 8月定例会

22年度一般会計決算及び特別会計決算認定が主要な議題でありましたが、全議案ともそれぞれ賛成多数で承認、可決されました。又、4月の統一地方選後の初議会で、広域連合議員の改選もあり議長、副議長選挙及び監査委員の選任も行われ、一般質問では4人の議員が高齢者医療制度等について質問がなされました。

組合議員 熊倉 正治



# 7.29水害調査特別委員会の設置



◀ 川前地区占用地が濁流にのまれたビニールハウス



農道復旧に尽力する人々 ▶

7月29日新潟、福島両県を集中豪雨が襲い記録的な降雨量で甚大な被害が発生しました。被災された住民の皆様方に心からお見舞い申し上げます。

議会では、調査特別委員会を設置し、支援対策、災害対策は機能したか、安全対策について協議していきます。

(委員長 小池真一郎)

▼JA南蒲前の国道403号線



▼国交省の応援による新大正川の排水作業



▲羽生田川の濁流



▲保明嶋地区の浸水状況

## お知らせ

議会を傍聴してみませんか。  
次の定例会は  
**12月12日(月)**からの予定です。

## 編集後記

突然の大雨は瞬く間に中小河川を氾濫させました。議会は「7.29水害調査特別委員会」を設置し、議員全員で被害の調査を行いました。浸水被害は、R403号線沿いや保明嶋、新田堀等で見られ、今後、水門の保守・点検を強化する必要があると感じました。

町からの「避難指示」を受け、40人以上の町民が集まった町民体育館では、避難について学ぶことが多くありました。

(松原 記)

委員長 川口與志郎  
副委員長 今井 幸代  
委員 松原 良彦  
委員 川崎 昭夫  
委員 皆川 忠志  
委員 熊倉 正治  
委員 浅野 一志  
委員 有川りえ子  
委員 椿 一春